

早いもので11月も半ばを迎えようとしています。一昨年は新型インフルエンザによる休校や学級閉鎖が相次ぎ、緊張して毎朝の出席確認をしていました。

今年も残り少なくなりました。朝夕の冷え込みも厳しくなり、節電の、あの夏を耐えていたことが夢のように思い出されます。そんな中でも3月11日の大震災と被災された方々の姿を忘れることはできません。季節柄、寒さと戦う被災地の姿が報道されることが多くなる時期となりますが、一日も早い復旧と復興を願っています。

それでは65号、お届けします。

【ラウンジコンサート2回目を行いました 11月11日（金）】

3階ホールへの遊休ピアノの移動をご理解いただき、ありがとうございました。10月14日に第1回目のミニコンサートを行いました。2回目を11月11日に開催。2年生のピアノ演奏、3年生のシャンソンの発表がありました。生徒がピアノを弾き、シャンソンを歌い、集まった生徒が嬉しそうに耳を傾けることができる高校になりました。定期的に校内での演奏会を行うのは、県立高校ではほとんど例がないことだと思います。

発表という機会を通して自信を高めていく生徒がいます。一生懸命な友人の発表を通して自分のことに置き換えて励ましを受ける生徒がいます。多彩な輝きを発揮する力を持った生徒が集まった学校の姿を実感するためのきっかけとして学校に定着するよう支援したいと思います。校内コンサートに是非お越し下さい。

【神奈川県高P連 湘南・鎌倉地区大会 10月14日（金）】

高P連湘南・鎌倉地区大会が茅ヶ崎市民文化会館で行われました。研究発表では寒川高校PTAが「子どもの気持ちよい学校生活を願って 寒高グリーン・プロジェクト」と題してPTA活動と今年取り組んだ夏のグリーンカーテンの植栽について発表がありました。藤沢清流高校PTAからは「みんなが集まるPTAへ」と題して、藤沢高校と大清水高校の統合によるPTA活動の立ち上げについて発表がありました。学校は同じように見えてもそれぞれが特色をもっています。同様にPTA活動も多彩であることがわかります。各校の底流にあるのが、今回の大会テーマである「子どもたちの健やかな成長を願って」ということになります。

【翡翠祭 10月22日（土）、23日（日）】

第8回翡翠祭が行われました。正門入り口前にテントを設置して受付をする予定でしたが、22日（土）はあいにく雨となり、急遽、昇降口前に受付を移動しての開催となりました。今年の翡翠祭の新しさは演劇や合唱という授業の成果発表があったことです。また服飾研究会のファッションショーも作品制作と発表が組み合わせられ工夫された内容の発表になっていました。2日間で2,103人の人々が来校されました。内訳は生徒招待者958人、本校保護者343人、中学生363人、卒業生94人、PTAOB17人、近隣居住者36人、登録に間に合わなかった招待者292人となっています。1日目は624人、2日目は1,479人の来校者がありました。昨年からすると454人の減少となっています。文化祭の内容や参加生徒の服装や頭髪を含めた様子、準備から後片付けを含めた動きについて、たくさんのご意見をいただいて、より良いものにしていきたいと思います。

【生徒を育てる校外連携学習】

8月に桜美林大学と高大連携を結びました。11月29日（火）に人間科学系列の授業「演劇」で桜美林大学専任講師鐘下辰男先生の特別授業を行います。県下公立全高校にも見学の案内をしています。生活福祉系列の授業「社会福祉援助技術」では高校生の子育て支援として絵本の読み聞かせを12月5日（月）に行います。これに先立って行った湘南台文化センターでの絵本の読み聞かせは、高校生の真剣な姿が好評だったということです。1年次生は地域に学ぶ事業所訪問を11月9日、10日に行いました。校外の力を校内に取り入れ、校内の生徒を校外で育てるという学習を展開しています。どうぞ、見学にお越し下さい。